

2022年3月期 第2四半期 決算説明資料



2021年11月30日

コマニー株式会社(コード:7945)

●事業内容	P.1	●重点施策	P.17
事業内容	P.2	重点施策 オフィス市場	P.18
コマニーの目指す姿（2030年へのムーンショット）	P.3	重点施策 工場市場	P.19
●2022年3月期第2四半期 連結業績の実績	P.4	重点施策 医療・福祉市場	P.20
会計方針の変更	P.5	重点施策 学校市場	P.21
2022年3月期第2四半期 実績	P.6	重点施策 高耐震間仕切 Synchron	P.22
売上高の増減分析	P.7	●中期経営計画	P.23
営業利益の増減分析	P.8	中期経営計画（22年3月期～24年3月期）	P.24
財政状態	P.9	●トピックス	P.25
キャッシュ・フロー	P.10	「間づくり」への取り組み	P.26
●2022年3月期 連結業績の予想	P.11	気候変動への取り組み	P.27
パーティション市場の動向	P.12	サステナビリティへの取り組み	P.28
連結業績予想	P.13	●参考資料	P.29
売上高の増減要因（通期予想）	P.14	社是・経営の理念	P.30
営業利益の増減要因（通期予想）	P.15	会社概要	P.31
設備投資計画	P.16	沿革	P.32
		連結業績の推移（売上高・営業利益）	P.33

事業内容



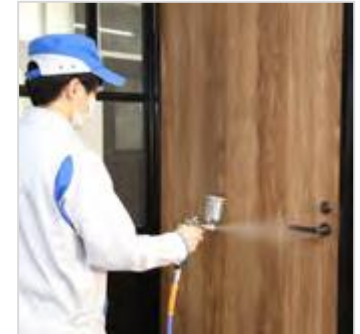
【オフィス】



【工場】



すべての人が光り輝く人生を送るために、
より良く働き、より良く学び、より良く生きるための
持続可能な環境づくり、人づくりに貢献する



【医療・福祉】



【学校】

Empower all Life

～一人一人が光り輝く社会に貢献～

「誰一人取り残すことなく一人一人が自分らしく光り輝ける
と同時に、その一人一人が共存共栄の中でこれまで以上に
繋がり合い、お互いを活かし合うような社会」

「間づくり」

による事業活動と社会への貢献

コマニーの「間づくり」について、詳しくはこちら
<https://www.comany.co.jp/about/>





2022年3月期 第2四半期 連結業績の実績

④収益認識に関する会計基準等の適用

これまで：工事完成基準 ⇒ 変更後：工事進行基準

④物件及び施工管理、図面作成に係る費用の会計処理

- ・ 物件（工務や設計技術）及び施工管理に携わる部門の費用
販売費及び一般管理費 ⇒ 売上原価
- ・ 図面作成に係る一部の費用
売上原価 ⇒ 販売費及び一般管理費

※結果、売上原価の構成比が高くなる。

【売上総利益率】

前期2Q 変更前：36.6% ⇒ 変更（遡及適用）後：24.9%

今期2Q 25.1%（前期比0.2ポイント増）

2022年3月期 第2四半期 実績

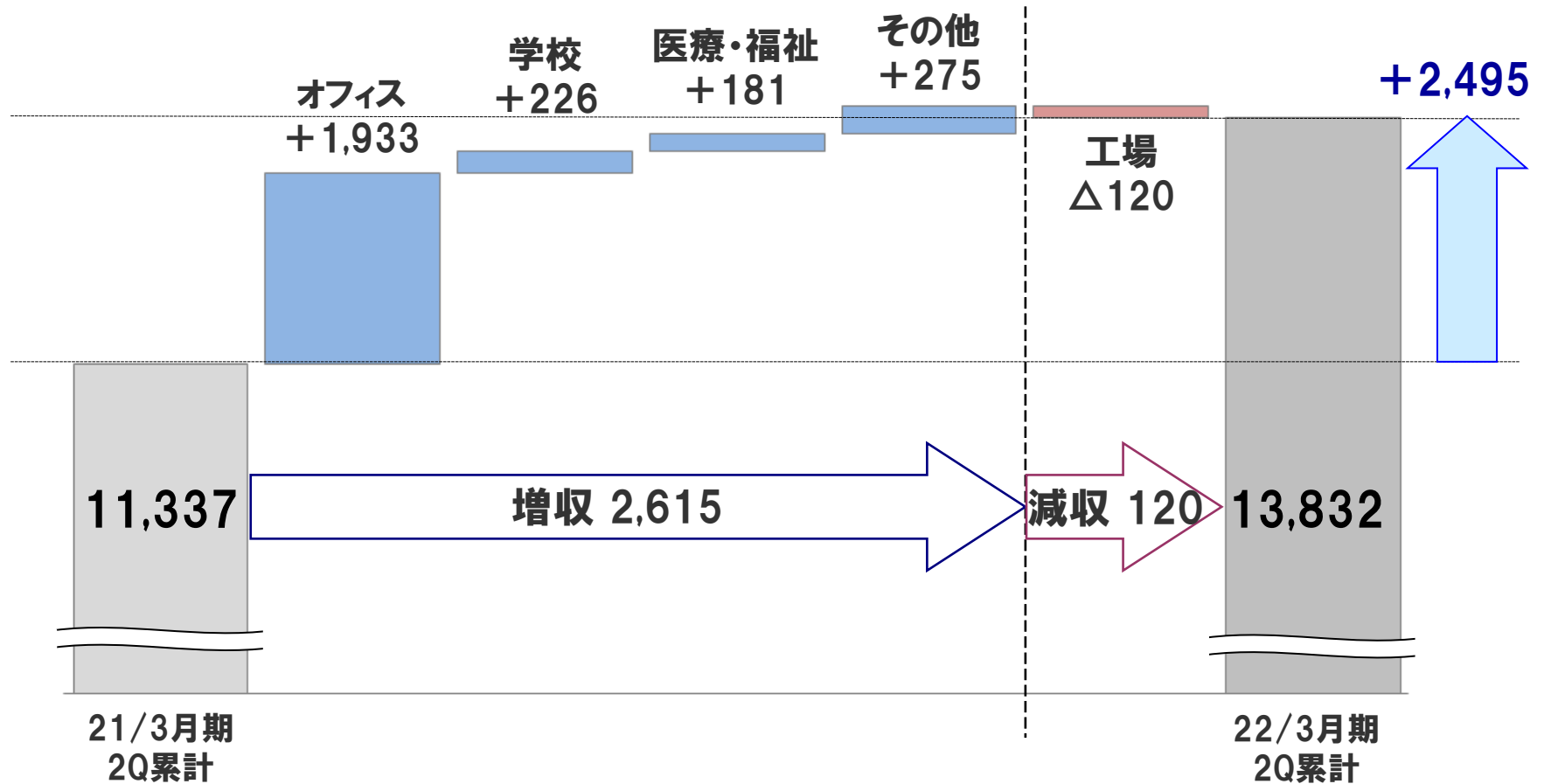
(単位:百万円)

	21/3月期 2Q累計	22/3月期 2Q累計			
		計画	実績	対前期	対計画
売上高	11,337	13,300	13,832	122.0%	104.0%
営業利益	△ 502	50	78	581	158.0%
営業利益率	—	0.4%	0.6%	—	+0.2pt
経常利益	△ 350	70	88	438	126.6%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 279	10	12	291	126.1%
1株当たり 四半期純利益(円)	△ 31.35	1.12	1.41	32.76	0.29
1株当たり 配当金(円)	15.00	25.00	25.00	10.00	0.00
フリーキャッシュ・フロー	2,780	—	1,023	36.8%	—

※会計方針の変更により前期実績を遡及修正しています。

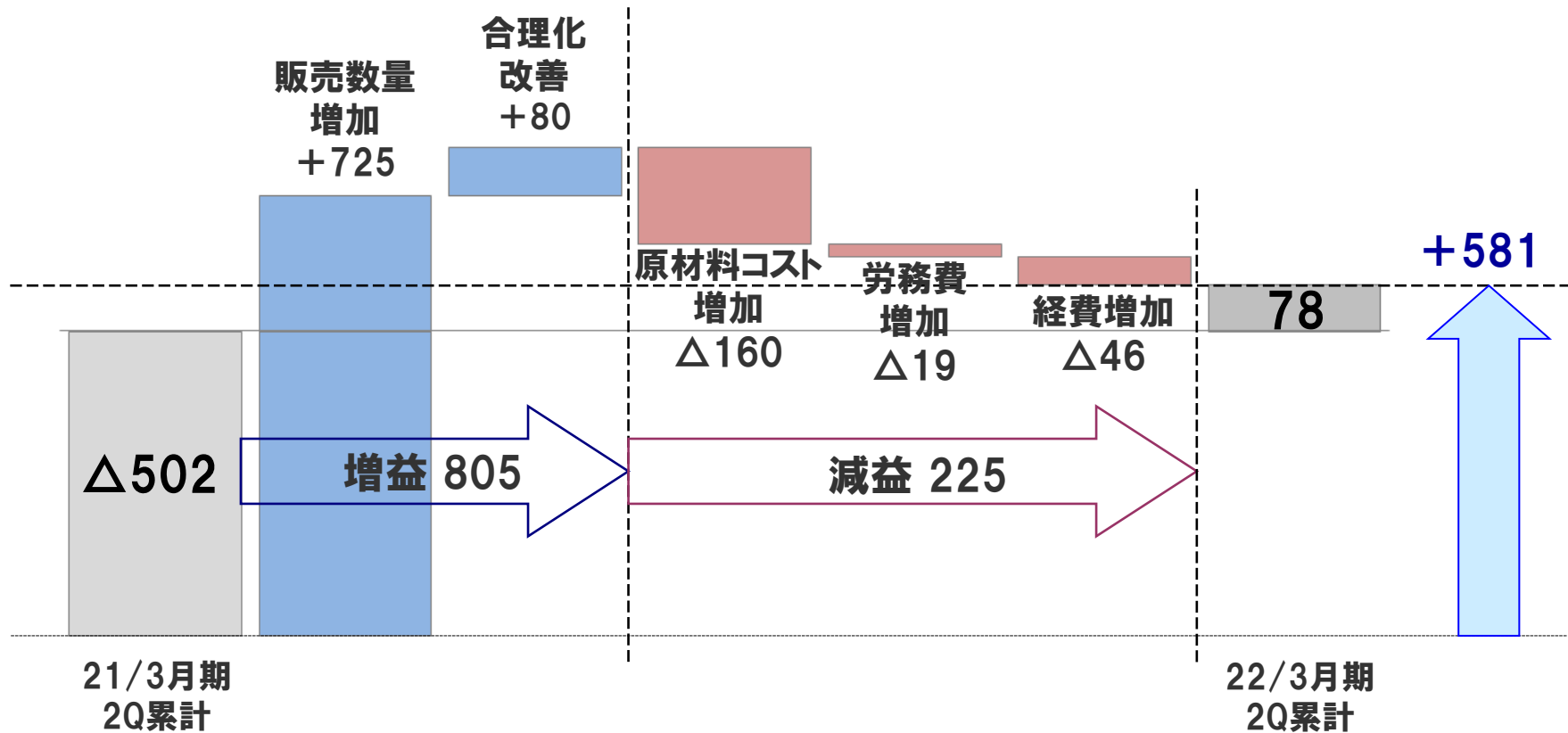
売上高の増減分析

(単位：百万円)



営業利益の増減分析

(単位：百万円)



財政状態

(百万円)

	21/9末 (A)	21/3末 (B)	増減 (A-B)	主な増減要因
現金及び預金	14,627	14,362	264	・ ネットキャッシュ10,877
売上債権	7,983	9,257	▲1,274	・ 前期売上代金の回収
棚卸資産	1,208	1,488	▲279	
固定資産	11,466	11,630	▲163	・ 設備・IT投資294 ・ 減価償却▲387 ・ その他▲70
その他	247	360	▲112	
資産合計	35,533	37,098	▲1,565	
借入金	3,750	4,250	▲500	・ 長期借入金期日返済▲500
その他	8,563	9,517	▲953	・ 未払金・未払法人税等の減少
負債合計	12,313	13,767	▲1,453	
株主資本	22,595	22,728	▲132	・ 会計基準変更106 ・ 期末配当▲274 ・ その他36
その他	623	603	20	
純資産合計	23,219	23,331	▲112	
自己資本比率%	65.3	62.9	2.4	

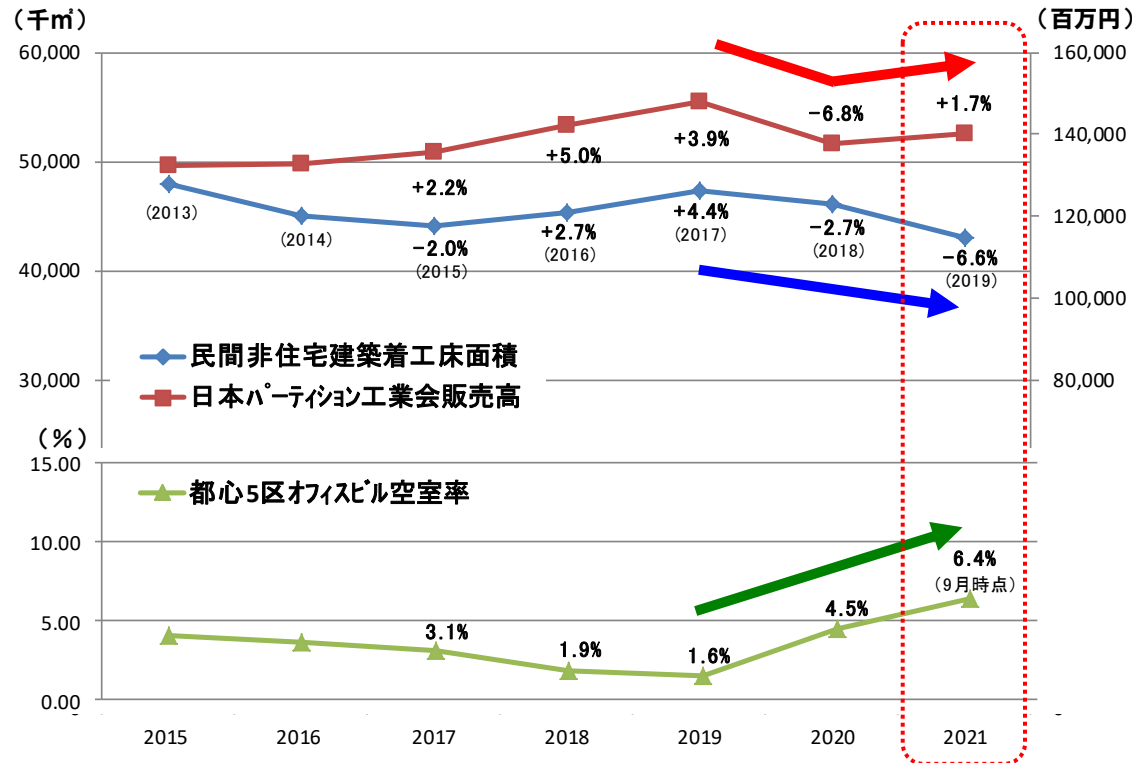
(百万円)

	21/9末 (A)	20/9末 (B)	増減 (A-B)	当期実績の主な内訳
営業活動による キャッシュフロー	1,257	2,684	▲1,426	売上債権減少 1,985 棚卸資産増加 ▲333 法人税等支払い ▲241
投資活動による キャッシュフロー	▲234	95	▲330	設備資金支払い ▲125 IT投資資金支払い ▲112
フリー キャッシュフロー	1,023	2,780	▲1,757	
財務活動による キャッシュフロー	▲771	4,510	▲5,282	長期借入金期日返済 ▲500 期末配当金の支払い ▲273
現金及び現金同等物 の増減額	264	7,270	▲7,005	
現金及び現金同等物 の期末残高	14,627	15,506	▲879	

2022年3月期 連結業績の予想



パーティション市場動向



■ 主な指標

日本パーティション工業会販売高
民間非住宅建築着工床面積
都心5区オフィスビル空室率

民間非住宅建築着工床面積
2013～2019年まで3月時点の年計
⇒「民間非住宅建築着工床面積」の推移が2年後の
パーティション市場に影響する想定

日本パーティション工業会販売高
12月時点の年計 (2021年は9月年計)

都心5区オフィスビル空室率
12月時点の実績 (2021年は9月時点の実績)

■ 市場動向

- ・ 民間非住宅建築着工床面積は減少傾向
- ・ 大型オフィスビルの供給も2020年をピークに減少傾向
- ・ 都心5区オフィスビル空室率は上昇を続け6%を超える状況
- ・ パーティション工業会の販売高が前期比+1.7%と回復に転じた

【参考】

- 民間非住宅建築着工床面積
http://www.mlit.go.jp/statistics/details/jutaku_list.html
- 日本パーティション工業会販売高
<http://www.jmpa.info/jmpa/index.html>
- 東京23区大規模オフィスビル供給量調査
<https://www.mori-trust.co.jp/pressrelease/2021/20210927.pdf>
https://www.mori.co.jp/img/article/210527_2.pdf

連結業績予想

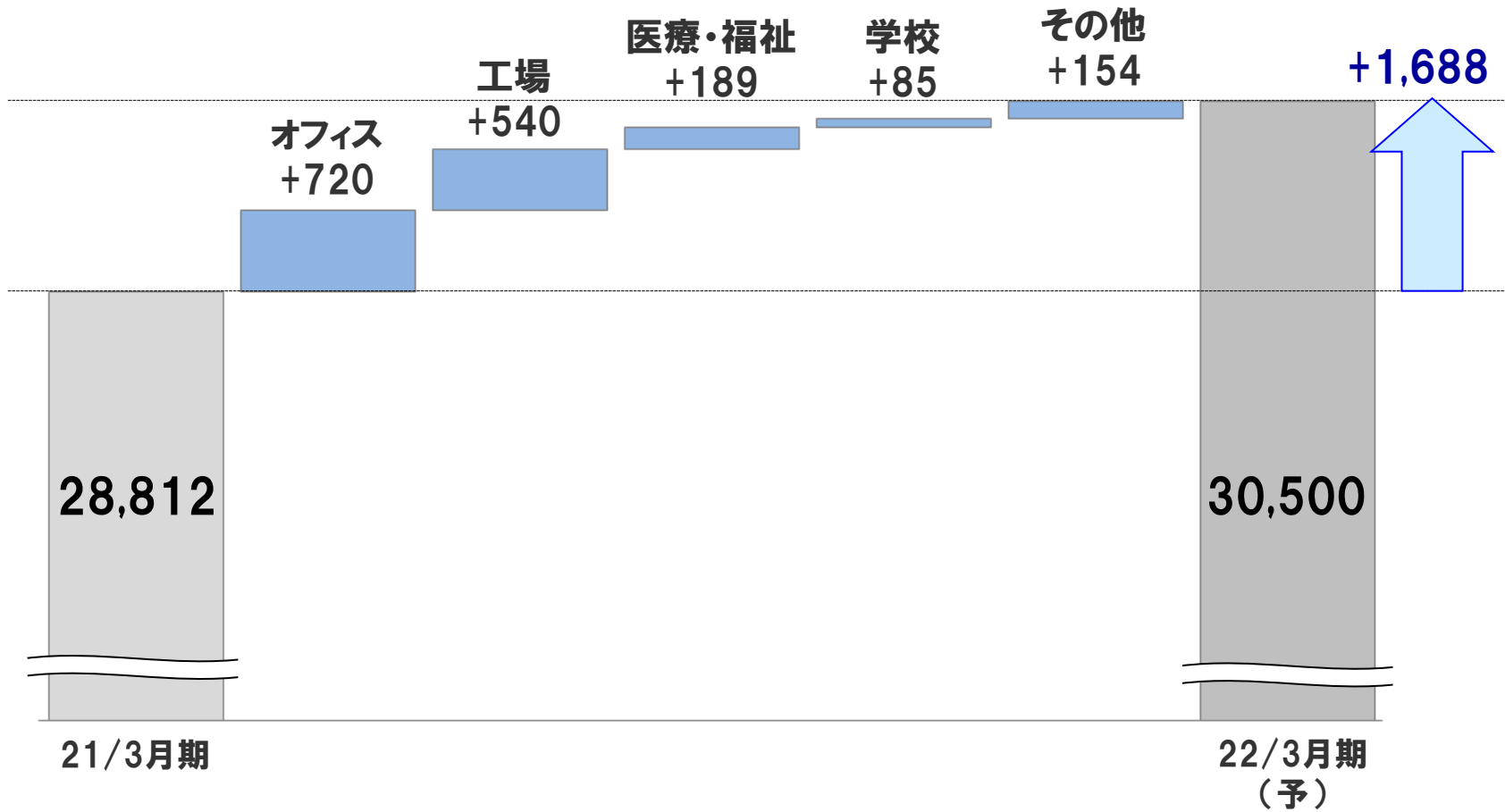
(単位:百万円)

	21/3月期		22/3月期		
	2Q累計		2Q累計	予想	対前期
売上高	11,337	28,812	13,832	30,500	105.9%
営業利益	△ 502	1,138	78	1,500	131.8%
営業利益率	—	4.0%	—	4.9%	+ 0.9pt
経常利益	△ 350	1,345	88	1,540	114.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 279	880	12	1,000	113.6%
1株当たり 当期純利益(円)	△ 31.35	98.83	1.41	112.16	113.6%
1株当たり 配当金(円)	15.00	45.00	25.00	50.00	5.00

※会計方針の変更により前期実績を遡及修正しています。

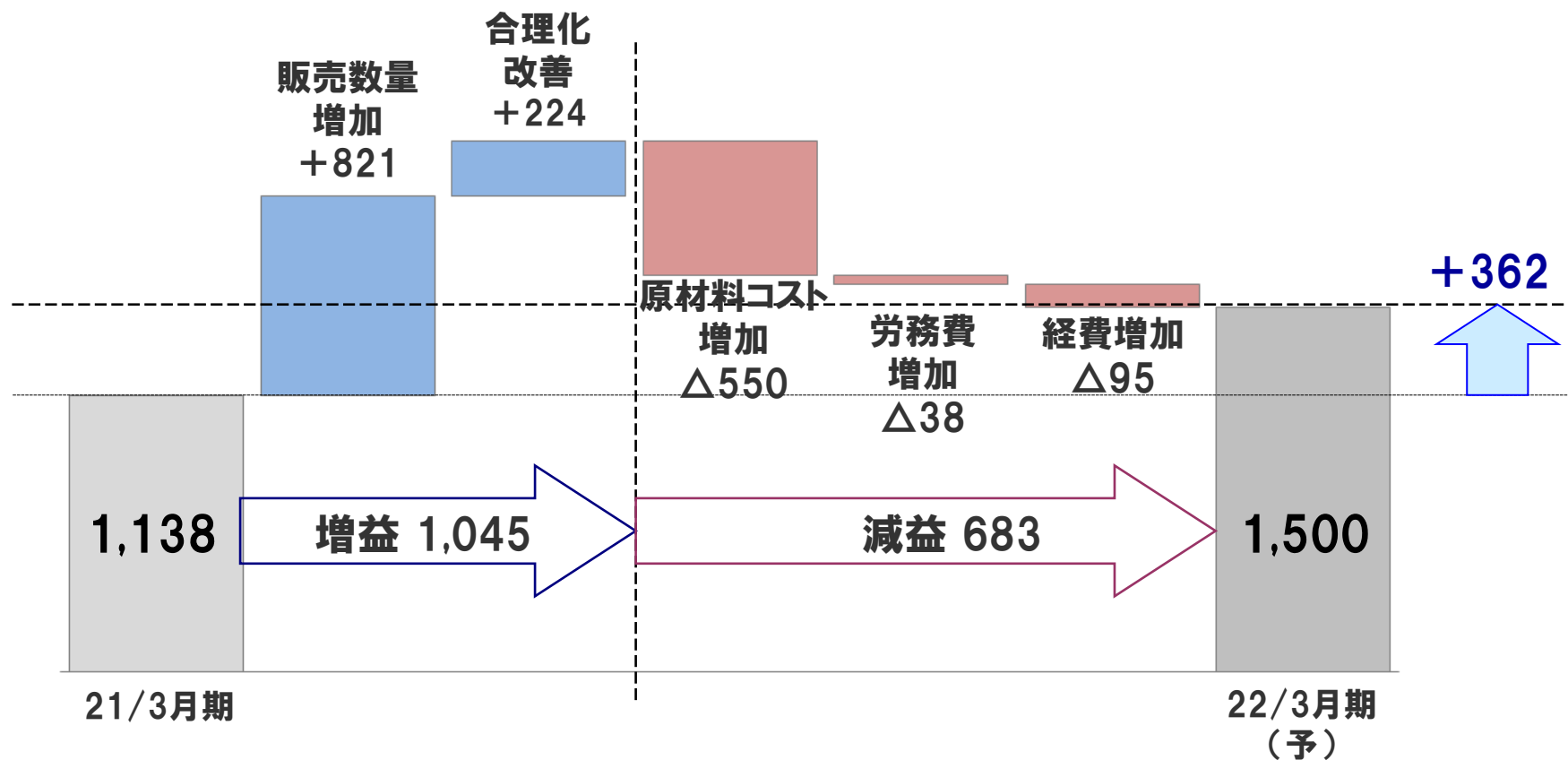
売上高の増減要因（通期予想）

（単位：百万円）



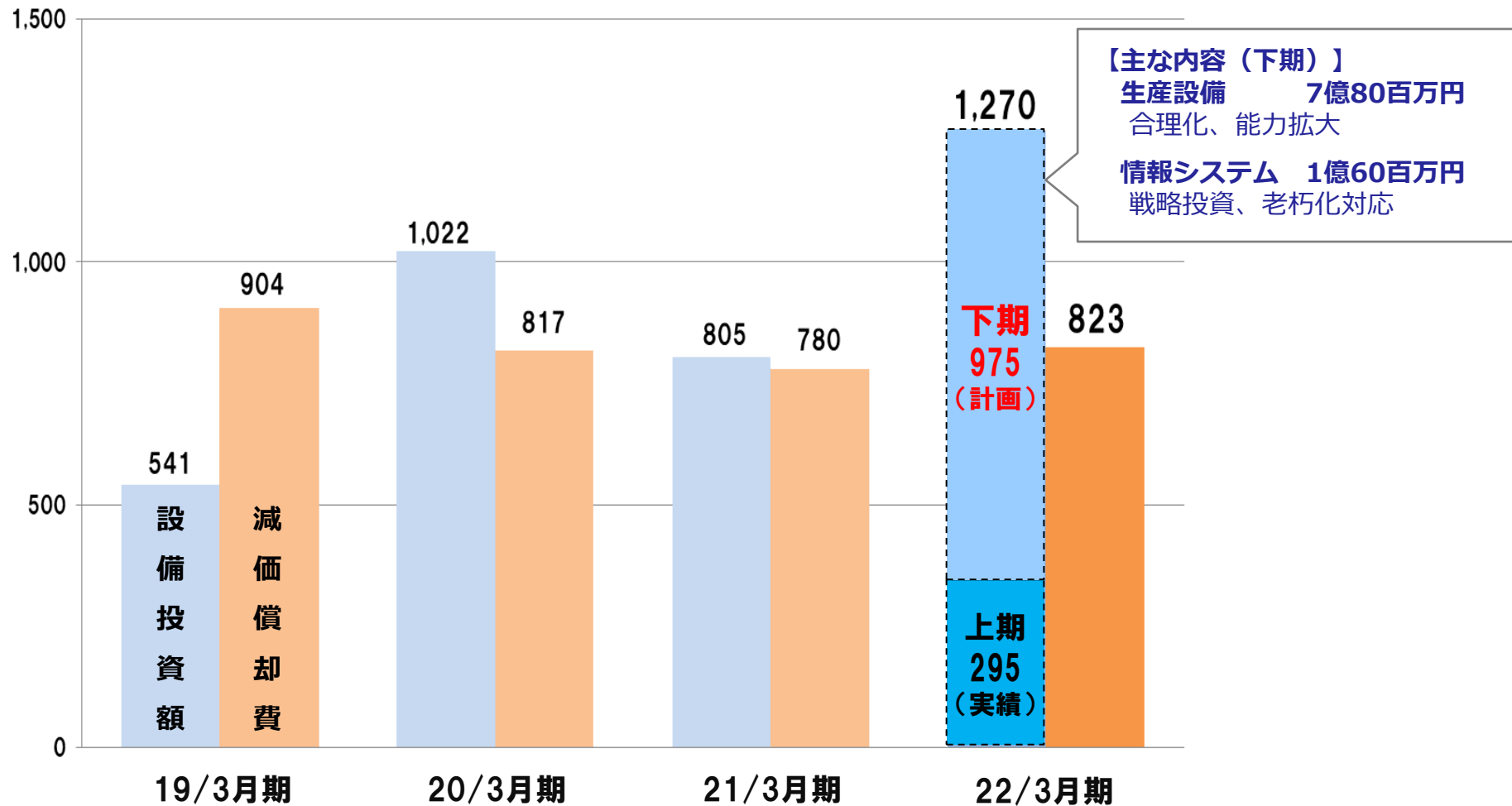
営業利益の増減要因（通期予想）

（単位：百万円）



設備投資計画

(単位：百万円)

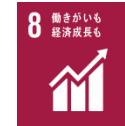
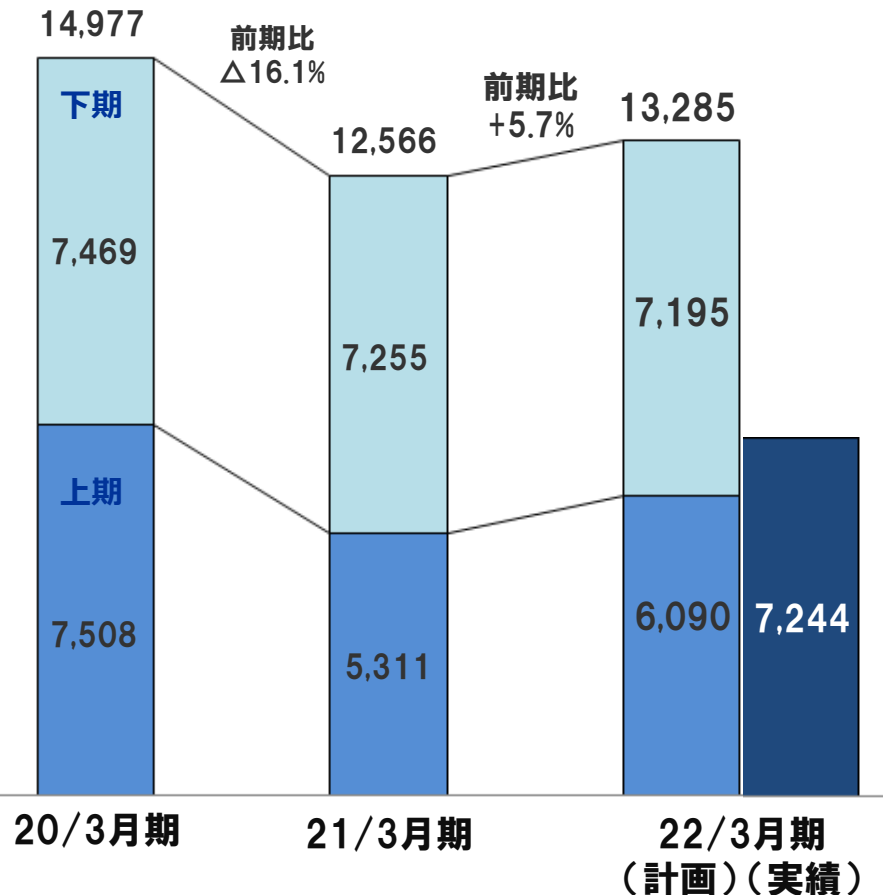




重点施策

【オフィス市場 売上高計画】

(単位：百万円)



■ 上期

- ・ 新たな働き方に対するニーズが増加
- ・ オフィス移転やレイアウト変更なども増加

■ 下期

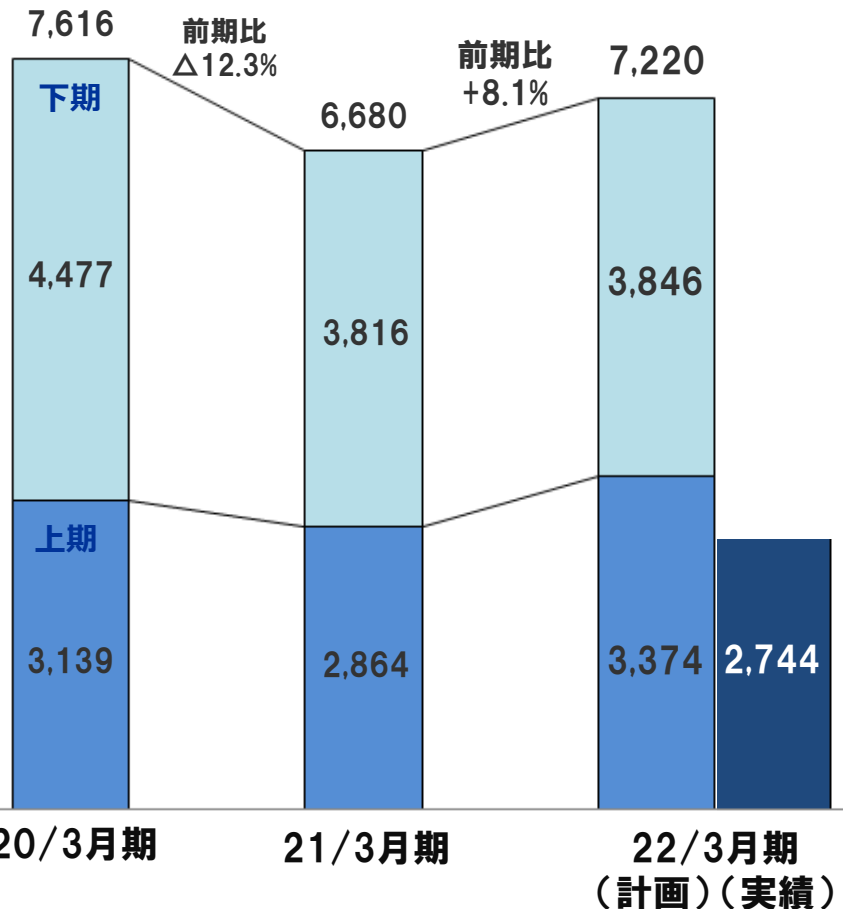
- ・ 多様な働き方に対するオフィス空間づくりの需要など堅調に推移すると予測
- ・ センターオフィスの価値や、テレワークなどオフィス以外の場所で働くニーズなども想定し、商品やサービスの展開



デスク付き個人ワークブース
「Remote cabin (リモートキャビン)」

【工場市場 売上高計画】

(単位：百万円)



■ 上期

- ・ 製造業の業績は回復傾向であるものの、設備や環境改善への投資については控えめで推移

■ 下期

- ・ 上期同様の傾向が継続する見込み
- ・ 受注獲得に向けて、顧客とのコミュニケーションを密にとり、早いタイミングでの情報収集と営業活動を強化

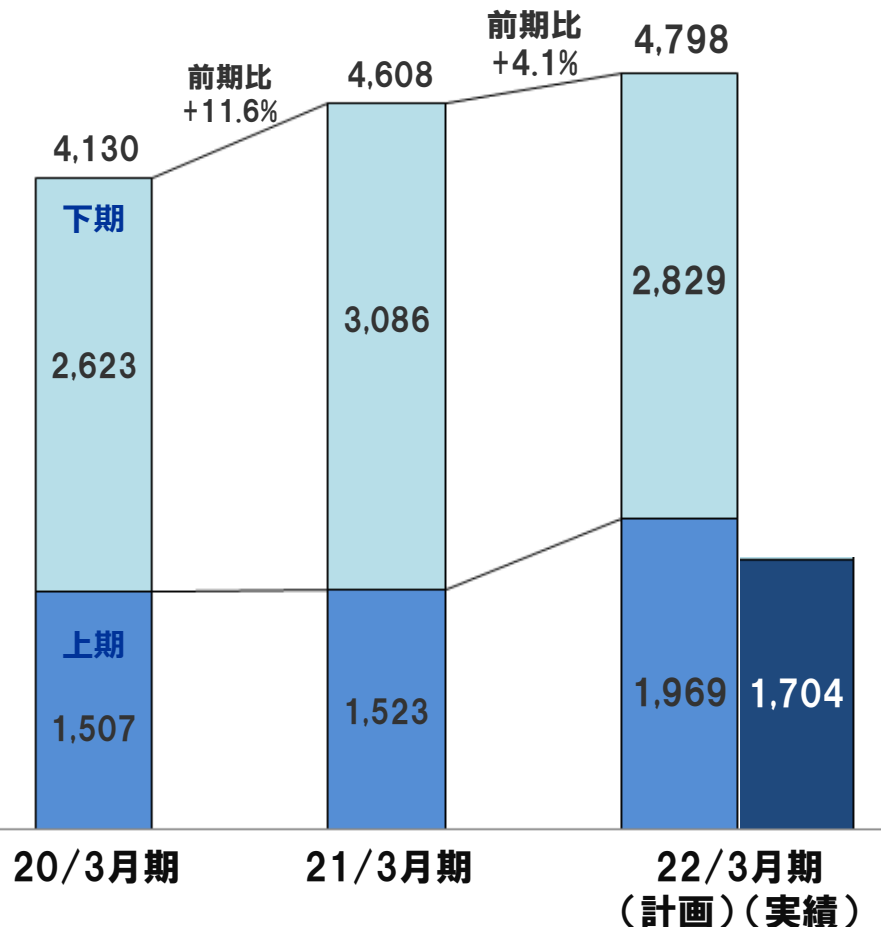


クリーンルーム施工事例



【医療・福祉市場 売上高計画】

(単位：百万円)



■ 上期

- ・ 有料老人ホームや病院の大型物件の売上計上
- ・ 病院市場では多床室の個室化について感染症対策とプライバシー保護の両側面からニーズの高まり

■ 下期

- ・ 納入実績のある法人へ感染症対策の提案
- ・ 介護医療院の要望に対して、多床室のプライバシー保護改修に最適なベッド間仕切り「しなやか」や「Health Bright Evolution」を含め提案



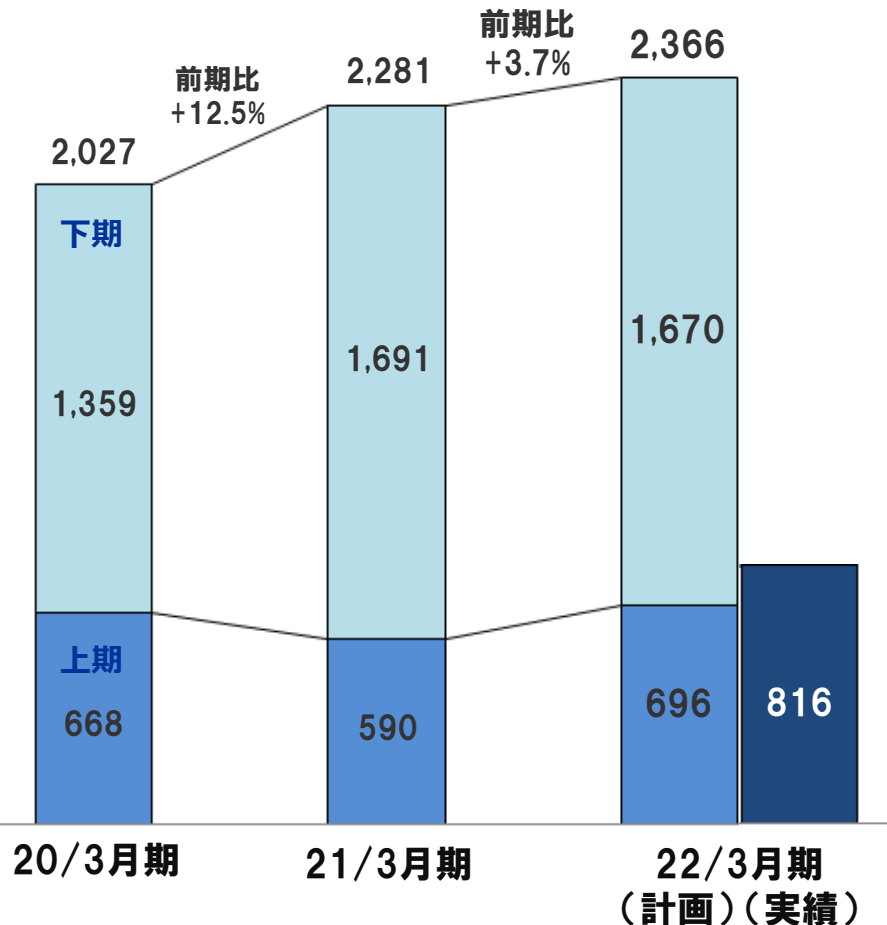
ベッド間仕切り「しなやか」



抗菌、抗ウイルス液体
「Health Bright Evolution」

【学校市場 売上高計画】

(単位：百万円)



■ 上期

- ・ 公共工事を中心とした公立学校施設の整備の需要が堅調に推移
- ・ 設計織込活動を進めてきた公立小中学校施設の長寿命化などの大型工事需要の取り込み
- ・ 私立大学施設の改修工事によるトイレブース販売が伸張

■ 下期

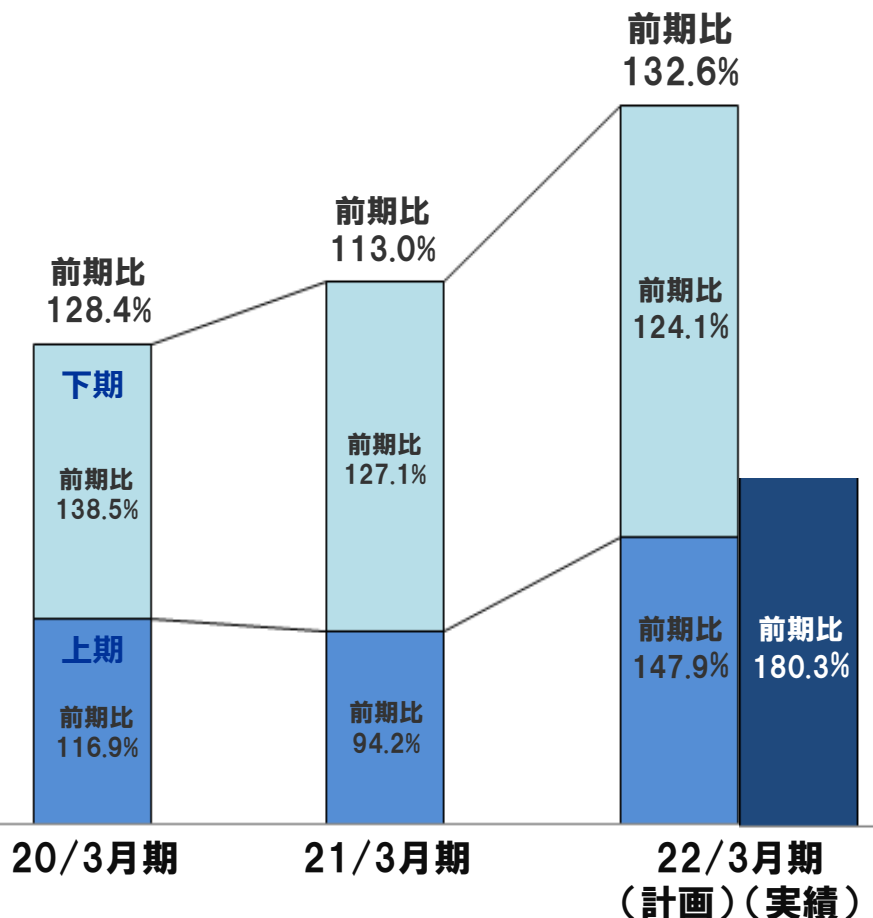
- ・ 継続的に設計織込活動を進めてきた案件の取り込みに注力
- ・ 来夏の学校改修工事受注に向けた積極的な設計織込み活動を推進



学校トイレブース施工事例



【高耐震間仕切『Synchron（シンクロン）』 売上高】



■ 上期

- ・ 市場の回復に合わせて売上高も伸張
- ・ シンクロン搭載率向上の取り組み

■ 下期

- ・ シンクロン対応商品の拡充
- ・ 仕様改良により対応可能な現場を増やす



「EUP-Synchron」納入事例



※加振試験の様子

中期経営計画



Empower all Life ～一人一人が光り輝く社会に貢献～

中期経営目標（連結）

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
売上高	30,500百万円	32,000百万円	33,000百万円
営業利益	1,500百万円	2,100百万円	2,640百万円
経常利益	1,540百万円	2,140百万円	2,680百万円
親会社株主に帰属する当期純利益	1,000百万円	1,400百万円	1,800百万円
売上高営業利益率	4.9%	6.6%	8.0%



トピックス

「間づくり」への取り組み

これまで築き上げたパーティションの技術をさらに発展させ、多様化するニーズや社会課題にお応えするため、パーティションの枠にとらわれない「間づくり」に取り組んでいきます。



抗菌、抗ウイルス液体
「Health Bright Evolution」



デスク付き個人ワークブース
「Remote cabin」



避難所用プライベートブース



高耐震間仕切り「Synchron」



飛沫感染防止間仕切り
「U/P Light」



どこでもブース
「KAKOU」



アウトドアワークセット「Mile」



【SBT認定取得に伴い設定した目標】



総量目標

2030年までに2018年比でScope1+2（自社）における二酸化炭素排出量を50%削減することを約束します

サプライヤーエンゲージメント目標

購入した商品やサービスを対象とした排出量の80%に相当するサプライヤーに、2024年までにSBT基準に沿った目標設定していただくことを約束します

【再エネ100宣言 RE Actionにコミットした目標】



再エネ率

2024年：30% ▶ 2027年：40% ▶ 2030年：50% ▶ 2040年：100%

サステナビリティへの取り組み

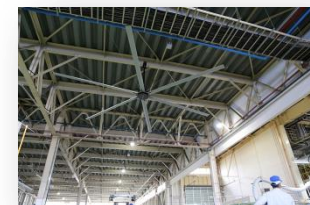
☞ FEMSの本格稼働を開始

工場の主力設備及び電灯・空調の使用電力の見える化で省エネ活動推進



☞ 工場に大型シーリングファンを導入

工場の職場環境改善で熱中症リスクを低減



☞ PPA型太陽光発電システムを本格稼働

脱炭素社会の実現に向け、再エネ・省エネを積極推進



☞ 梱包資材を環境配慮材料へ切り替え

バイオマスフィルムやFSC認証ダンボールへの切り替えを実施



参考資料



社是

- 一、我等の精神は人道と友愛である
- 一、我等の生活は共存共栄の中に成り立つべきである
- 一、我等の使命は社会に貢献すべきである
- 一、我等は知識を高め技術を磨き
絶えず前進すべきである
- 一、我等は余暇を楽しみより豊かで
幸福な人生を送るべきである

経営の理念

全従業員の物心両面の^{しあわせ}幸福を追求すると同時に、
人類、社会の進歩発展に貢献する

- 商 号 コマニー株式会社 COMANY INC.
- 本 社 石川県小松市工業団地一丁目93番地
- 設 立 1961年（昭和36年）8月18日
- 代 表 者 代表取締役 社長執行役員 塚本 健太
- 資 本 金 71億21百万円
- 従 業 員 数 （連結）1,240名 （単体）1,096名
- 事 業 内 容 パーティション（間仕切り）の開発、設計、製造、販売および施工
ならびにパーティション関連の内装工事、建具工事
 - 建築工事業 国土交通大臣許可（特-26）第3669号
 - 内装仕上工事業 国土交通大臣許可（般-26）第3669号
 - 建具工事業 国土交通大臣許可（般-26）第3669号
- 株 式 市 場 東証二部 名証二部 証券コード：7945
- 株 式 総 数 9,924,075株
- 取 引 銀 行 北陸銀行、北國銀行、みずほ銀行、三井住友銀行、
三菱UFJ銀行、日本政策投資銀行

（2021年9月30日現在）

- 1961年 8月 小松キャビネット株式会社設立
- 1970年 6月 社名を株式会社コマツパーティション工業に変更
- 1980年12月 パーティション業界 売上高第一位達成
- 1984年11月 社名をコマニー株式会社に變更
- 1985年11月 デミング賞実施賞中小企業賞を受賞
- 1989年11月 株式を名古屋証券取引所市場第二部に上場
- 1991年 4月 子会社キャップ株式会社(のちにコマニーエンジニアリング株式会社)を設立
- 1996年10月 1996年度 T P M優秀賞第一類を受賞
- 1996年12月 格満林国際貿易(上海)有限公司を設立
- 1997年 5月 株式会社コマツフラッシュ(現クラスター株式会社)を子会社化
- 1999年10月 1999年度 T P M優秀継続賞第一類を受賞
- 1999年12月 ISO9001認証を取得
- 2001年11月 ISO14001認証を取得
- 2007年 4月 南京捷林格建材有限公司を子会社化
- 2012年 2月 格満林(南京)新型建材科技有限公司(中華人民共和国)を設立
- 2015年 6月 東京証券取引所市場第二部に上場
- 2016年 9月 ユニバーサルデザイン折り戸「Dear-d(ディアード)」が2016年度グッドデザイン賞を受賞
- 2017年11月 ISO9001およびISO14001認証を2015年版に更新
- 2018年 4月 子会社コマニーエンジニアリング株式会社を吸収合併
- 2018年 4月 「コマニーSDGs宣言」を表明
- 2018年 4月 国連グローバル・コンパクトに署名
- 2018年 8月 健康経営優良法人2019(ホワイト500)を認定取得
- 2019年 2月 「コマニーグループ人権方針」を策定
- 2019年 6月 小松市と「SDGs推進に関するパートナー協定」を締結
- 2019年 6月 次世代認定マーク「くるみん」を取得
- 2019年10月 やさしいドアシリーズが2019年度グッドデザイン賞を受賞
- 2019年10月 再エネ100宣言RE Action 加入
- 2019年11月 グリーン購入大賞(大企業部門) 受賞
- 2020年 1月 格満林(南京)新型建材科技有限公司(中華人民共和国)を譲渡
- 2020年 3月 JMAQA AWARDS 2020受賞
- 2020年 4月 SBTイニシアチブから認定
- 2020年 7月 FSC認証を取得
- 2021年 1月 「女性のエンパワーメント原則 (WEPIs)」に署名
- 2021年 3月 健康経営優良法人2021を認定取得



In support of

**WOMEN'S
EMPOWERMENT
PRINCIPLES**

Established by UN Women and the
UN Global Compact Office

連結業績の推移（売上高・営業利益）

